

公益財団法人柏崎地域国際化協会 令和7年度事業計画書

本協会の設立目的は多文化共生の地域づくりです。柏崎地域でも、外国人住民の数が増えることが予想され、地域の重要な担い手としての期待がますます高まっています。世界の全ての人が、国や人種・文化の違いを超えて互いを認め合い、安心して心豊かに暮らせる社会を目指します。

令和6年度は、予定していた事業をほぼ計画どおり実施し、講座等への参加人数もコロナ禍前と同じ程度になりました。言語文化サポーターを始め、たくさんの方々の協力を得て、活動を進めています。

令和7年度は、この流れを更に発展させ、言葉や文化紹介を通じた交流活動を充実させるとともに、特に中高校生など若い層への働きかけを強めます。また、再開が予定されている柏崎市の中国友好都市との交流事業に協力します。令和8年度は、創立30周年であることを踏まえて、活動の充実を図ります。

国連の提唱する持続可能な開発目標 SDGs を意識して、目標に沿った活動を続けます。

公益目的 地域国際化事業

8,397 千円

1 国際化に関する事業(定款第4条1項(1))SDGs



4,835 千円

国際協力貢献

官公庁及び大使館への提出書類の翻訳、柏崎市を多言語で PR するための事業等の翻訳通訳などに協力します。友好都市を含む世界の地域との交流に関する文書翻訳や通訳など、事業協力を行います。言葉の支援を通して、人や国の不平等をなくすために協力します。

語学文化講座

人材育成のための講座です。言語とともに文化も学ぶことを重視し、より深い理解につなげます。現行の英語(初級2・中級2)、韓国語(入門・会話)に加え、中国語を継続します。また、夕方に韓国語・中国語の短時間講座を開催し、学生や仕事を持つ人が新たに参加しやすい環境を整えます。

多文化理解講座

日本の風習習慣や世界のことを知る講座です。外国出身者が柏崎地域で自信を持って活躍してほしい、住んでいる地域のことをもっと知ってほしいとの思いで、講師から外国の文化紹介や、言語文化サポーターの協力による日本文化体験などを行います。引き続き、学校へ出向いて実施する多文化共生の出前講座を企画・支援します。

多様性理解に焦点を当てた講座を実施し、多文化共生や「やさしい日本語」について考える活動を企画します。また、地域へ出向いて、災害への備えを一緒に考える取組を検討します。

2 情報の収集提供事業(定款第4条1項(2))SDGs



1,308 千円

多言語情報

国際化の事業をよく知ってもらうために、また、地域住民へ安心安全を伝えるために、生活や防災に役立つ情報を「やさしい日本語」、英語や他の外国語で発信できるよう、今の取組を推進します。ホームページの充実を図るとともに、フェイスブックやインスタグラムでの発信を充実させます。柏崎を世界に発信するための活動にも協力します。

広報啓発

世界を意識した国際活動に興味を持ってもらうために、当協会の活動報告や事業周知をする、国際化協会ニュースを発行します。多文化共生理解を地域に広めることを目的としています。

3 活動協力育成(定款第4条1項(3))SDGs 727 千円

人材育成

多文化共生社会の中での橋渡しのできる人材を育成します。地域で頼りになる言語文化サポーターの育成を続け、活躍できる場を地域と連携して作ります。災害時外国人支援研修では、外国人をサポートする人材の研修を充実させます。情報が届かず被災者になってしまう人々を、少なくするためです。オンラインでの研修や情報共有の方法についても工夫します。

民間協力

誰にでも気軽にできる国際協力として、市民と共に取り組んでいる活動です。家にある外国コインをお寄せいただき、公益財団法人日本ユニセフ協会(日本での国際連合児童基金)に送り、世界の子どもの命と健康、権利を守る活動に役立ててもらっています。未使用の切手・はがき、書損じはがき及び使用済切手やテレフォンカードなどを集めています。それを、特定非営利活動法人シャプラニールに送り、主にバンラデシュやネパールの人々の生活向上を目指した活動にいかしています。また、国際関係を学ぶ団体やインバウンド推進の研修会などへの講師依頼に応じます。地域と連携し、公正で平和に向かうための活動になるよう協力します。

4 地域協働支援(定款第4条1項(4))SDGs 1,527 千円

生活相談

外国関連の生活相談に対応します。地域住民の人権を守ることにつながるからです。通訳を必要とする行政の手続きや学校などに、依頼があれば通訳を派遣します。相談者の不安を取り除き、解決に向けて、より専門的な機関へつなぐ役割を担います。オンラインを活用した専門家や他の組織との連携について研修し、相談活動の充実を図ります。

日本語支援

日本語学習を続けることは、学習意欲が高まること、日本理解が進むこと、職業を得ることにつながり、地域での生活がより豊かになります。児童生徒を含め、すべての外国人住民を対象に、日本語教室を昼夜開講します。この教室は一つの居場所となっていて、心の安定につながっています。講師は、日本語指導に十分な知識と経験を積んだ言語文化サポーターが務めています。また、新たな担い手を育成する研修に力をいれます。

柏崎市教育委員会から依頼を受けた場合、研修を受けた方を日本語指導員として推薦します。外国にルーツを持つ子どもたちが、質の高い教育にたどり着けるようにするためです。

法人管理業務 1,110 千円

理事会、評議員会、監事会、執行役員会の開催、法人の運営に関する事務局経費です。